

島根県訪問看護師キャリアラダー

	レベル	I (新人)	II (初級)	III (中級)	IV (上級)	V (管理者)
	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を受けて看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
I 看護実践能力	ニーズをとらえる力	レベル毎の目標	助言を受けてケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味を踏まえてニーズをとらえる
		行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手の身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手の身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる
	ケアする力	レベル毎の目標	助言を受けながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する
		行動目標	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実践できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践する <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別性に合わせて、物・時間・体制の3つを考えて適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知し、安全なケアの方法や工夫ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別性をとらえ、指示書に沿って包括的な看護実践ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的及び予防的に看護実践ができる
		レベル毎の目標	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる
		行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割が理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる <input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションをとることができ <input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる <input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力しながら多職種連携を進めていくことができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手とケアについて意見交換ができる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができます	<input type="checkbox"/> ケアの受け手が置かれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力しあうことができる <input type="checkbox"/> 多職種連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる
	意思決定を支える力	レベル毎の目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる
		行動目標	助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連付けることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる <input type="checkbox"/> 適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> 法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる
組織的役割遂行能力	レベル毎の目標	チームのメンバーとしての役割や係、活動内容を理解する	チームのメンバーとしての役割や係活動の補佐的役割を果たせる	チームリーダーやコーディネーターの役割、また創造的能力を要求される役割を果たせる	サービスの質向上に向け組織の課題や方向性を明確にする	サービスの質向上に向け組織の課題や方向性を明確にし取り組むことができる
	組織・運営・管理	行動目標	<input type="checkbox"/> 事業所の業務の流れを理解している <input type="checkbox"/> 看護チームでは、チームのメンバーの役割、組織的には係等の役割を遂行できる	<input type="checkbox"/> 組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標達成に向けて基準や手順を順守した行動がとれる	<input type="checkbox"/> チームリーダーやコーディネーターの役割、また創造的能力を要求される役割を遂行できる <input type="checkbox"/> 管理・運営を理解している <input type="checkbox"/> 新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる	<input type="checkbox"/> 特殊または専門的な能力を必要とする役割、または指導的な役割(学生指導・業務改善係・学習会係・教育委員・リスクマネジメント係)を遂行できる <input type="checkbox"/> 管理・運営を理解し行動できる
			<input type="checkbox"/> 地域の特性(人口、産業、医療、介護等)を理解している <input type="checkbox"/> 在宅療養に関連する地域の資源を踏まえ、訪問看護の役割を理解している	<input type="checkbox"/> 在宅療養に関連する地域の資源を踏まえ、訪問看護の役割を理解している	<input type="checkbox"/> 所属する事業所の地域の中での役割を自覚している	<input type="checkbox"/> 現場の課題の明確化ができる <input type="checkbox"/> 地域の多職種に向けて訪問看護の役割を発信できる
	地域連携		災害	<input type="checkbox"/> 災害マニュアルを熟読し、災害発生時には指示に従い取るべき適切な行動を理解できる	<input type="checkbox"/> 災害発生時の自分の果たす役割を理解し、行動を考えられる	<input type="checkbox"/> 災害発生時にはマニュアルに沿った迅速な行動ができ、他者への指導ができる <input type="checkbox"/> 災害発生時にはリーダーシップを取ることができ
自己教育・研究能力	レベル毎の目標	自己の課題を導き出し学習することができる	自己課題を達成することができる	自己の学習活動に積極的に取り組むだけでなく、新人や学生の指導的な役割を果たす	自己の学習活動に積極的に取り組むだけでなくスタッフの指導的な役割を果たすことができる	自己の学習活動に積極的に取り組みながら、同時に個々のスタッフのキャリアアップに向か指導・支援することができる
	行動目標	<input type="checkbox"/> 同行訪問で何を学ぶかを明確にできる <input type="checkbox"/> 同行訪問で得た技術など自立して実践できるように知識・技術を習得している <input type="checkbox"/> 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる	<input type="checkbox"/> 事業所の利用者に提供される医療処置・看護技術や関連する知識を習得している <input type="checkbox"/> 自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる	<input type="checkbox"/> 訪問看護師としての自立に向け、様々なケースに対応できる技術を習得している <input type="checkbox"/> 自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる	<input type="checkbox"/> 訪問看護の調整力を発揮するための知識・技術を習得している <input type="checkbox"/> 自己のキャリア開発に関して目標する方向に主体的に取り組み、後輩のロールモデルとなる事ができる <input type="checkbox"/> 訪問看護師として実践から自己の課題を明確にできる	<input type="checkbox"/> 實践・課題を分析し、得た成果を言語化・可視化(数値化)できる <input type="checkbox"/> 訪問看護分野における先導役として自覚を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり、研究活動を実践できる。また教育的役割がとれる